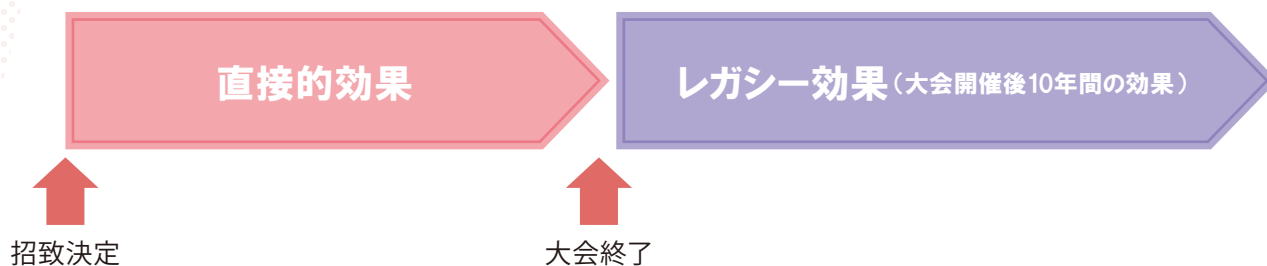


経済波及効果

経済波及効果について

- 専門家の意見を踏まえながら、オリンピック・パラリンピックの開催に関わる投資や支出により発生する需要増加額（施設整備費・大会運営費及び消費支出額）を整理した上で、札幌市及び北海道の平成27年度産業連関表を使用し、各種効果を札幌市が推計したものです。
- 経済波及効果には、招致決定から大会終了までの「直接的効果」と、大会開催をきっかけとした観光客の継続的な増加等による「レガシー効果」があります。



1. 直接的効果（招致決定から大会終了までの効果）

需要増加額（施設整備費・大会運営費・消費支出額）を用いて大会を実施した場合、
約7,500億円（札幌市内分は約3,500億円）の直接的効果

【需要増加額】

施設整備費
770億円

大会運営費
2,200億円

消費支出額[※]
470億円

※消費支出額：観客、選手、メディア関係者等が消費する支出額のこと

	生産誘発額 (需要増加によってもたらされる生産活動の総額)	粗付加価値誘発額 (生産活動によって生み出された所得額)	雇用効果
全国	約7,500億円	約3,500億円	約55,000人
北海道	約4,500億円	約2,500億円	約35,000人
札幌	約3,500億円	約2,000億円	約25,000人

○札幌市が独自に推計したもので、今後変更することがあります。



2. レガシー効果（大会開催後10年間の効果）

大会開催により、日本・北海道・札幌の認知度が向上し、開催後も観光消費額などの増加が見込まれます。

大会開催による認知度向上によるインバウンド観光客の増加、
食品輸出額の増加、新規施設によって生み出される支出額の増加により

約2兆5,000億円（札幌市内分は約4,000億円）の経済波及効果

【レガシー効果の需要増加額】

**観光消費額増
1兆750億円**

**食品輸出額増
1,500億円**

**新規施設が
生み出す支出額増
450億円**



	生産誘発額 <small>（需要増加によってもたらされる生産活動の総額）</small>	粗付加価値誘発額 <small>（生産活動によって生み出された所得額）</small>	雇用効果
全国	約2兆5,000億円	約1兆2,500億円	約230,000人
北海道	約1兆4,000億円	約7,000億円	約130,000人
札幌	約4,000億円	約2,000億円	約40,000人

○札幌市が独自に推計したもので、今後変更することがあります。

- 大会の開催により札幌、北海道のイメージが様々なメディアを通じて世界中に広がり、飛躍的に認知度が向上。
- インバウンド旅行客の増加やそれに伴って増加が期待される道内からの食品輸出額の増加などによりさらなる経済効果が期待できる。